



大分県  
Furusawa Dental  
Laboratory

古澤 陸生  
さん

今回のアイテム

# ウルトラワクサー2

## 電気式ワックスペンによる効果とチップの使い分け

私が電気式ワックスペンを使用して20年以上になるが、現在では世界的に使用されている。

使用される主な理由として、環境の保全、作業効率の向上、適合性の向上などが挙げられる。この電気式のインスツルメント使用による効果を具体的に述べる。

まず、従来のガスやアルコールなど、炎を使用する場合、空気を汚染し、また、目視が困難なアルコールの炎は、火傷の

危険性など取り扱いに注意が必要である。ウルトラワクサー2は電気式で空気を汚染する事もなく、作業環境に優しい器材である。

ガスバーナーの炎は、インスツルメントとワックスがオーバーヒートしやすく、また、冷めやすい。作業効率の向上という点では、インスツルメントとワックスが一定の温度上昇を保つ事が重要である。

調整されているため、作業を効率的に行うことができる。また、ガスバーナーと比較して、光熱費を16分の1に抑える事ができる。

更に、適温に調整されたウルトラワクサー2のペン先は、ワックスをオーバーヒートさせる事なくワックスアップを行う事が可能なため、ワックスの組成を良好に保ち、ワックスクラウンの精度を上げ、結果、適合性を向上させる。

ウルトラワクサー2の自由にカスタ

マイズできる設定機能と、ワンタッチで交換できるチップは操作性に優れ、種類も豊富で、用途に合わせて選択できる。

このウルトラワクサー2は、技工室だけでなく、診療室でも使用して頂きたい。義歯製作時のろう堤やワックス試適時の人工歯排列などの微調整をストレスなく行う事ができ、また、往診など出向いた先でも、重宝すると思われる。



ウルトラワクサー2。左右のペンは独立した温度設定が可能である。



PKT: スモールとラージがあり、ワックスコーンなどを立てる作業などに使用される。



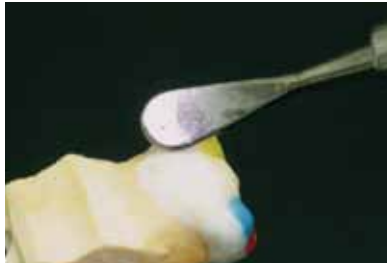
1/2ホーレンバック: マージン部への少量のワックス盛り付けや焼き付けなど細部の作業に使用する。



スモール#7: 先端部が細くなっている為、細部へのワックス盛り付けを容易に行う事ができる。



ビーパティール: 筆者が最も多用するスパチュラで、軸面のワックス盛り付けに使用する。



ラージ#7: 一挙に大量のワックスを盛り付ける作業に使用する。



ニードル: 少量のワックスを盛り付ける作業に使用。特にブリッジの連結に適する。



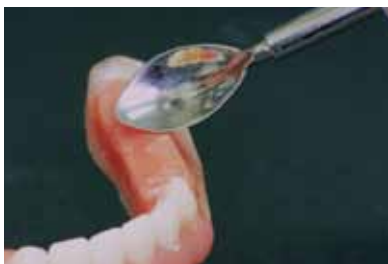
完成したワックスクラウンの咬合面観。



完成したワックスクラウンの頬側面観。



ラージ デンチャー用: 人工歯の排列や微調整に有効である。



デンチャースプーン: 大量のワックスを盛り付ける時に有効である。



スモール デンチャー用: 薄く作製されている為、細部の作業を行う事ができる。